

Q-Uアンケート

教職員の人権感覚は児童生徒の自尊感情を育む大切な要素です。

データは、前に歩かせず、自分の横に連れて歩いて下さい。



Q-U分析シート 年 組 実施 月 日 男 人・女 人

1. 現在の学級集団のプロット図

学級満足度尺度の4群の分布状態

満足群	() 人	() %
非承認群	() 人	() %
侵害行為認知群	() 人	() %
満足群	() 人	() %

学校生活意欲尺度の領域の特徴

高い領域 → (友だち・学級・学習)

低い領域 → (友だち・学級・学習)

2. これからの学級集団への具体的な取り組み
(日常の学級活動、授業、特別活動・行事、校内校連携、保護者対応など)

今年度も四十十市教育研究所の國本研究員を講師に迎え、「いじめのない学校をめざして」～いじめの予防と支援～というテーマで、研修を行いました。

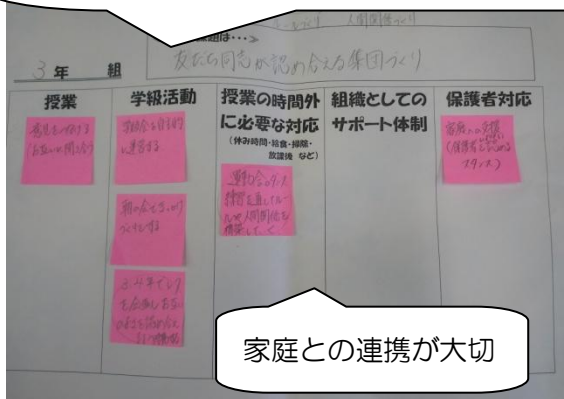
休み時間も子ども達の様子を気にかけよう。



低・中・高学年のグループに分かれて各学級のプロット図から学級の状態を把握しました。2学期に向け、よりよい学級を目指して、その対応策を検討しました。

「やっぱり！」
「えっ！何でここにいるの？」

焦点項目：「授業」「学級活動」「時間外に必要な対応」「組織としてのサポート体制」「保護者対応」



2学期の学級経営に活かせるように、「ショートK-13法」により学級の課題にあった具体策（いつ・誰が・どこで・何をすることを明確に）を出し合いました。その中から、重点的に取り組むことを決め、実践しています。

年2回（5月・11月）、Q-Uアンケートを実施し、校内研修で分析・共有することで、各学級の課題を共有し、学校全体で支援しています。この取組は、学級崩壊の予防やよりよい学級集団づくりに役立っています。また、不登校になる可能性の高い児童の早期発見やいじめの発生・深刻化の予防、支援や注視が必要な児童やいじめ被害にあっている児童の発見等に努めています。

「いじめに関する」研修や「Q-U活用」研修は、毎年講師を招き、継続して研修を深めています。教職員の人権感覚や学級経営等のスキルを磨き合い、年々研修の質も向上してきています。